

講義名	研究演習		
講義コード	15205	授業形態	演習
担当教員	伊藤 淳		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限		
備考			

ゼミ
全学ゼミ
学部
経済学部
学科
経済学科
演習名
伊藤淳ゼミナール（健康スポーツ学）

<p>概要説明</p> <p>健康とスポーツに関することを幅広く研究します。それらに対して疑問を持つことが非常に大切です。そして教員、ゼミ生からの話題提供を通じてながら、より興味のあるテーマについて深く考えていきます。</p> <p>研究演習 健康について理解し、体力の維持・増進のためのトレーニングをデザインします。 スポーツイベントの開催を通じて、参加者へスポーツの楽しさ、やりがいなどを伝えられるようにします。</p> <p>研究演習 専門（得意・興味のある）種目の特性や競技力構造を理解します。またその種目の実技指導を行うことで、相手に伝えるスキルを学びます。 過去の卒業論文を読み、論文の構成や研究方法などについて理解します。卒論のテーマを決め、文献収集等を行います。</p> <p>卒業研究 卒業論文の執筆を進めます。</p> <p>その他 就職活動の支援（自己PRの作成支援や面接練習など）も行います。</p>

学位
修士（体育学）

<p>教員よりの要望</p> <p>当たり前前のごを当たり前前にできるようにしてください。 ゼミ活動へも積極的に参加して下さい。 結果には、原因があります。結果を受け止め、原因を改善し、さらに向上しようとして努力しましょう。</p>

教員英字氏名
Jun Ito
研究室
研究棟 1階 119
最終学歴
筑波大学大学院 体育研究科 コーチ学専攻 修士課程

<p>主な研究活動・社会活動・研究業績</p> <p>バスケットボールにおける戦術分析、コーチング。 スポーツ活動の効果。</p> <p>翻訳 賢者は強者に優る —ビート・キャリルのコーチング哲学— 共著 2011年4月30日 株式会社晃洋書房 バスケットボールにおけるチームビルディングについて —天理大学男子バスケットボール部のオフェンスビルディングに着目して— 2012年7月 流通科学大学教養センター紀要 第2号 R大学男子バスケットボールチームにおけるスカウティング活動に関する研究 2015年3月 スポーツサイエンス (vol9-1)</p>
--

<p>主な卒業論文のタイトル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬式野球と軟式野球の比較について -スポーツにおけるメディアの重要性- ・指導者の資質 ・スポーツと社会人基礎力の関連 ・ナイキとアディダスの経営戦略について ・ソフトホースアジア大会について ・バレーボールにおけるレセプションの返球率とスパイクの決定率の関係性について ・サッカーの得点の時間帯が勝敗に与える影響について ・ターンオーバーとバウンドの数が、勝敗へ及ぼす影響について ・卓球における日本と中国の強化策の比較について ・ドーピングについての意識調査 ・バスケットボールにおける日本とサンアントニオ・スパーズの戦術の違い ・バスケットボールシューズにおけるメーカー毎での比較 ・軟式野球における戦術上のバッテリーの役割
--

<p>趣味・特技</p> <p>写真撮影。 散歩。</p>
--

<p>所属</p> <p>経済学部 経済学科</p>

<p>所属学会</p> <p>日本体育学会 日本コーチング学会 身体運動文化学会</p>

<p>専門分野</p> <p>コーチ学 スポーツ学</p>
--

<p>選考方法</p> <p>演習申込書および面接にて選考。</p>

<p>担当科目</p> <p>スポーツ科学演A/B/C/D スポーツ科学</p>

<p>備考</p>

<p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況。 ・活動状況（レポート、取り組み姿勢など）。
--

<p>実務経験の有無及び活用</p>
